

## 指揮者プロフィール／上野正博

神奈川県生まれ。東京藝術大学音楽学部指揮科卒業。同大学院音楽研究科指揮専攻修了。  
'94年、東京国際音楽コンクール・指揮部門にて「入選」。'96年、ベルリン芸術大学に留学後、「ベルリン・ドイツ・オペラ」の指揮研究員として、Ch.ティーレマン氏の下で研鑽を重ねる。'98年、ギリシャ・アテネに於いて、ディミトリー・ミトロプーロス国際指揮者コンクールに最高位(1位なし2位)入賞。ドイツ語圏の代表音楽誌「Das Orchester」にて絶賛される。今までに、東京都響、読売日響、東京フィル、東京響、東京シティ・フィル、新日本フィル、神奈川フィル、群馬響、名古屋フィル、京都市響、広島響、札幌響、関西フィル等を指揮し、好評を得てきた。特に群馬とは年間契約を約20年継続して頻繁な共演を重ね、密接な関係が続いている。オペラの経験も豊富で、読売日響公演では、ドイツの名匠G.アルブレヒトに直接指名され重責を果たした。自らも多くのオペラを指揮し、'05年3月には、静岡県民オペラ「蝶々夫人」を指揮。'08年、横浜シティオペラ創立25周年記念公演「魔笛」「カルメン」で大成功を収め、'10年7月には渋谷シティオペラ「カルメン」を指揮、「音楽現代」誌上で絶賛される。11月には藤沢市民オペラ「カヴァレリア・ルスティカーナ」を指揮。海外では、2000年に国立ワルシャワ・フィル定期公演、ウィーン室内管のオーストリア・ツアーを指揮してヨーロッパ・デビュー。'06年には、ラボラトリウム国際現代音楽祭(ワルシャワ)に招聘された。現在、東京藝術大学大学院及びフェリス学院大学講師。

## ヴァイオリン／西本幸弘

札幌市出身。東京藝術大学音楽学部器楽科卒業。北英国立音楽院より奨学金を受け留学し、修了時に首席栄誉付ディプロマ取得。在学中、同音楽院よりthe John Barbirolli / Laurence Turner Memorial Prizeを含め3つの褒賞受賞。エーリングゲン楽友協会オーケストラ、RNCMオーケストラ等とコンチェルトを共演。エイラット室内楽フェスティバル、ザルツブルグ音楽祭、国連チャリティコンサート等で招待演奏。仙台フィルハーモニー管弦楽団をはじめ、多くのオーケストラでゲストコンサートマスターをつとめる。HBC Jr.オーケストラでは日塚友好親善演奏会としてウィーン楽友協会黄金ホールにて成功を収める。イギリスでNSHIMOTO TRIOと、Isolani String Quartetを結成、ウィグモアホール、ブリッジウォーターホールで演奏、レスター国際音楽祭、マンチェスターハイドン音楽祭、イギリス国営放送(BBC)、オーストラリア国営放送(ABC)等に出演。現在ふもとのこどもオーケストラ音楽監督、Mt.Fuji交響楽団トレーナー。  
今までにヴァイオリンを上木節子、山崎量子、北本和彦、大谷康子、田中千香士、澤和樹各氏に師事。ブログ『コニアと英国と僕』 <http://ameblo.jp/stefanocona/>

## 伊豆フィルハーモニー管弦楽団

平成5年に産声をあげた伊豆フィルは今年で18年目を迎えるオーケストラです。活動は定期演奏会の他、小編成のわくわくコンサート、ボランティアコンサート等があり、伊豆唯一のオーケストラとして地域に密着した活動を心がけています。10周年記念オペラ「カヴァレリア・ルスティカーナ」上演。15周年記念ヴェルディ「レクイエム」公募の合唱団員150名と共に伊東・三島2公演を行いました。そして一歩ずつ20周年へ向かって歩んでいます。団員は約50名。県内外の各地から集まり、自然豊かな伊東市旭小学校で楽しく練習に励んでいます。



32回定演ワークショップ楽器紹介風景より

## 聴きどころ一口メモ・・・《団員Nのつぶやき》

■「春の歌」こ～んな曲聴いたこと無いよ、という人も多いでしょう。しかし目を閉じて耳を澄まして聴いてみると、ほ～ら、ちょっと寒々とした北欧の風景や春を待ちこがれる人々の姿が浮かんできませんか。(浮かんで欲しい!)ところが作曲者のシベリウスは「春の悲しみ(憂鬱)」という副題を付けていたらしい。う～ん、どうも奥深い文学的な曲のようだ。喜びだけでなく、悲しみも感じてもらえる演奏をしなければ。

■2曲目も同じシベリウス作曲の「ヴァイオリン協奏曲」。なんとシベリウスは極度の緊張癖からヴァイオリニストになるのをあきらめられたらしい。でもきつとなりたかったんだろうなあ。この曲には彼のヴァイオリンと祖国フィンランドに対する熱い思いがたっぷりと込められているように思う。そして何より前回演奏会で我が伊豆フィルのゲストコンサートマスターとして登場した西本幸弘氏がソリストとして再登場!!彼はこれから更なる活躍が期待される逸材!本番ではさらに情熱的な演奏を聴かせてくれるはずだ!

■最後はドラマや映画で有名な「のだめカンタービレ」でも使われていた名曲中の名曲ベートーヴェンの「交響曲第7番」。ワーグナーに「舞踏の聖化」と讃えられたこの曲は「リズム」が命。オーボエ、クラリネット、フルートのソロから始まり、やがて弦楽器、ホルン、トランペット、ティンパニーも咆哮をあげるが、練習では難しくて「ひいひい」いていた。(かもしれない?)本番では指揮者の上野先生と共に「千秋先輩」(のだめカンタービレの指揮者)に負けられないような熱い演奏をするぞ!伊豆フィルの玉木宏がお送りしました。(ちゃんちゃん!)

## 一緒に音楽を作りますか？

### 団員募集中です!

オーケストラに興味のある方、  
ぜひ一度見学にいらして下さい。

練習:日曜日午後(月に2~3回)、伊東市立旭小学校  
ホームページ[www.izu-phil.org/](http://www.izu-phil.org/)  
問合せ/板垣0557-32-0328/島田090-9175-7498

